

## 「新型コロナウイルス感染に伴う課題対応チーム」の設置について

一般社団法人 情報サービス産業協会

### 1. 趣旨

(1) 新型コロナウイルスの感染は、全世界で拡大し、人・モノの動きの世界的な遮断、国内外における経済活動の抑制、国際金融市場の不安定化等、世界経済に計り知れない深刻な影響を及ぼしている。終息後も長期化な経済の低迷が懸念される。

こうした中、情報サービス産業は、社会インフラ事業者として、情報基盤を安定稼働することにより、社会機能及び企業活動の継続性を確保していくという重要な使命を担っている。

(2) JISA として、新型コロナウイルスの感染拡大に当たり、①その影響について IT 業界及び IT 利用者の現況を把握の上、当面の課題を整理して、行政当局や関係機関に提言・要望するとともに、②社会インフラ事業者としての使命を果たすため、具体的にいかなる役割を果たすべきか、早急に検討を進めていくことが必要である。

(3) IT 業界においては、テレワークへの対応（とりわけ客先常駐における対応）、データセンター機能の維持、システムトラブル及び納期遅延への対応、人の往来制限に伴う受注活動の停滞更には顧客の業績悪化に伴う受注案件の減少・先送り、雇用の維持・協力会社等からの受入の維持など、幅広い分野での影響が懸念される。まずは現状の把握が重要となる。

(4) IT 利用の面においては、緊急事態宣言を受けて、テレワークへの取り組みが強力に促されるとともに、遠隔医療、オンライン教育など IT を活用したリモートサービスへのニーズが急速に高まっている。

また、中小企業の IT 化等の促進、更にはマイナンバーの導入が進まないことにより、緊急事態に対処するための給付金の支給等が迅速に対応出来ないという日本社会の課題も浮き彫りとなっている。

今般の緊急事態を、社会改革を加速する契機としなければならないという機運が醸成されつつある。

(5) JISA として、今般の緊急事態に当たり、新型コロナウイルス感染に伴う課題の把握と解決に向けて、リーダーシップを取ることを期し、機動性のあるタスクフォースを立ち上げる。

## 2. 役割

### (1) 新型コロナウイルスの感染拡大による課題を把握の上、政府等に提言・要望を行う。

業界において今後懸念される、業績への影響、雇用への影響、中長期的な影響等について、下記により把握し、寄せられた意見・相談等を踏まえ、政府等に提言・要望を行う。

- ① 新型コロナウイルスに関する相談窓口を事務局に設置
- ② JISA 会員を対象に意見募集（アンケート）を実施

### (2) 社会インフラ事業者として「新型コロナウイルス感染との闘い」において果たすべき役割を明確に示す。

緊急事態に際し、社会機能を維持するための課題に対して、下記分野における解決策を提案する。（テーマ毎に政府予算の獲得を目指す）

#### 【 参考テーマとしての例示 】

- ① テレワークをはじめ組織行動の変革
- ② 遠隔医療をはじめ医療機能を確保・維持するための IT 利用の提案
- ③ 教育現場の徹底したオンライン化の推進
- ④ 流通・物流機能を確保・維持する e-コマースの提案（特に地域社会にて）

## 3. 体制

### (1) 正副会長会議の直轄としてタスクフォース「新型コロナウイルス感染に伴う課題対応チーム」を早急に立ち上げる。

### (2) タスクフォースは、原孝会長をトップとし、長坂正彦副会長（企画連携委員長）を推進リーダーとする。

### (3) タスクチームのメンバーは、課題把握の上、適切な人選を行う。

### (4) 必要に応じて、関係委員会等での審議の上、正副会長会議に諮り、政府の追加対策発動のタイミングを勘案し、政府及び関係機関等に提言・要望する。

## 4. 活動に対する予算措置

### (1) 活動に係る費用については、革新・連携推進費を充当する。

### (2) 政府の追加対策において必要な予算の確保を目指す。

以上